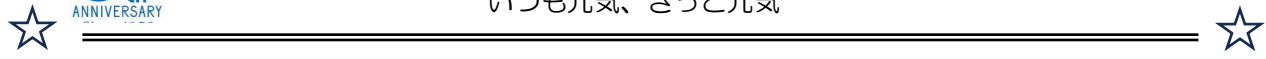


今月は6面!
 行事予定&こどもランド通信 1面
 くらすだより一きりん組 2面
 川こくま・こじか・ひよこ組 3~4面
 くらすだより-あれこれ&びん・ほん 5面
 ことばのアルバム&伝言板 6面



2024年
 (令和6年)
 8月30日
 発行
 こどものくに

〒038-0015 青森市千刈4丁目4番8号
 TEL&FAX 017-776-5538 E-mail:kids40@actv.ne.jp <https://www.kodomo-land.com/>
 いつも元気、きっと元気



♪ふうつと風が吹いて、もうすぐ…9月♪

見上げると、ポソポソつぶやきながら空を渡る雲の群れ…。暑い夏だったね!(まだつづいてる?)
 残暑、お見舞い申し上げます!

9月17日(火)十五夜。9月たんじょう会
 他に、8月30日~31日シーツ交換。
 ※9月上旬、きりん・こくま組はなしの木山にドングリひろいに出かけます。



8月の保育テーマは『おひさまとだち』でした。
 玄関先の壁面は、ねぶた~盆踊り~
 そして、今はおばけ~>



ケナフ、たぐいまの2歳78枚

紙パルプを作る一年草ケナフ。こんなに大きくなりました。

9月の保育テーマ 『あきかせ記念日』

- 地球交響楽 (からだごと響く、感じる、奏でる) ○秋の花や虫 (また、会えたネ)
- 風の色、光のにおい (かぜ、なんのいろ?ひかり、どんなにおい?)
- どんぐりころころ (丸くなる、ころがる) ○どんぐり貯金 (地球に返すための貯金だね)
- でたでた月 (こんばんは、お月さま) ○みちくさ探偵団 (みちくさを探す、楽しむ)

9月の歌 ♪ かぜのこもりうた ♪ 工藤 直子/作詞 新沢としひこ/作曲

こくまランド通信

園長 さつひでき

まだまだ暑さが続きますが、夜、少し涼やかに吹く風のおかげで、もう虫の音が聞こえてきます。ミツカドコオロギやエンマコオロギ、ヒメスズでしようか。彼らが何をささやいているのかちっともわからないけれど、それでも「コオロギにはコオロギの言葉、私には私の言葉...」そう思っています。言葉を身につけることで、人は人となる。私の言葉の限界が私の世界の限界なのだ。そう言ったのは哲学者のヴィトゲンシュタイン。道端の草や花にもそれぞれ名前があり、その名前を知ること、タンポポは私の世界を広げ、オオバコは草すもりの友となってきました。

かつて子どもは、しりとり、なぞなぞ、早口言葉...、ことわざやカルタなどの遊びを通して、世界を広げてきました。昔はなしの効用もそこにあつた気がします。しかし、この遊びながら言葉を身につける機会が減りました。言葉遊びを欠く社会は、人を作り出す力が乏しい、とも言われます。言葉遊びこそ、言葉のタネをまくことなのかもしれません。

たね
 ねたね うたたね ゆめみたね
 ひだね きえたね しゃくのたね
 またね あしたね つきよだね
 なたね まいたね めがでたね

谷川俊太郎

幼児期は心を耕す時。そして、耕した心に言葉の種をいっぱいまいてあげたい。その子の世界はぐんと広がり、実りの秋はもうすぐ...。

◎5月から植え始めたミニトマト・きゅうり・じゃがいもが実りました。子どもたちは実った野菜を見て「きゅうりデッカイ!」「トマト食べれそうだよ」と教えてくれて、みんなで収穫。きりん組の畑がカラスによって食べ荒らされる危機もありましたが、キラキラテープをつけて野菜を守り、みんなで水やりをして無事に実らせることが出来ました。ミニトマトは収穫する時にヘタと一緒に採るのが難しく、少し苦戦していましたが、張り切って「あれもこれも♪」と採るうちに、赤くなる前のトマトや、緑色のトマトまで採ってしまい…。でも、そんなトマトをお部屋に置いておいたところ、何日が経つと追熟して色が変わり、赤いトマトに変身!子どもたちは色が変わった事に驚き、「良かったあ〜♪食べられるね」と安心していました。



◎ケナフ、大きくなってます!
 7月に移植した「ケナフ」は、ぐんぐんと背が伸び、いつの間にかみんなが見あげるほどに!休み明けで久しぶりに来た子は「ケナフ、めっちゃデッカクなつた!」とビックリ仰天!いったい、どこまで大きくなるのか、子どもたちと観察していきたいと思います。
 これからもきりん組の畑をお楽しみに~!



◎みんな大好き、水遊び!
 「今日、水遊びする〜?」「水遊びしたい♪」という声が毎日のように聞こえていた、この夏。午前中は小さいクラスがプールを使っていて、きりんさんが遊べるのは食後の時間♪だから、少しでも長い時間、水遊びができるように、子どもたちは給食をモリモリ食べて、プールヘゴ♪ペットボトルの水鉄砲や水風船・ビニール袋で作った「水爆弾?」で、雪合戦ならぬ水合戦で盛り上がっています。「顔にかけないで!」「やめて〜!」と言いつつ、やられたらやり返す…の「倍返し」のように、お互いにピシヨピシヨになりながら楽しんでます。小さなタライだろうが、狭いプールだろうがお構いなしで遊びまわります。泳ぐだけではなく、本物のポイを使った「金魚すくい」や「色水遊び」「シャボン玉遊び」など、まだまだお楽しみは続いていきそうですね♪



◎ねぶたゴッコ
 夏...、やっぱりねぶた!自分たちで色ぬりしたねぶたのターフの前で、ラッセラ~
 ラッセラ~ 熱く燃えます あおもりの夏 にほんの夏



同運行にも参加しました♪
 8月2日・3日のねぶた合

◎水で遊ぶ、水を遊ぶ！ 暑い日が続く、洗たく遊びを手始めに、水遊びに流れこみました。身近なビニール袋やペットボトルに水を入れ、ボクシングのようにトレーニングです♪



これって楽しい♪



砂場に飾った水カーテン♪涼しいヨ、虹みたいだよ♪

◎やっぱプールだね♪ 何てったってプール遊び。まるで、プロレスやお相撲みたいに激しいったらありゃしない…。見てみて、楽しすぎる…よね！



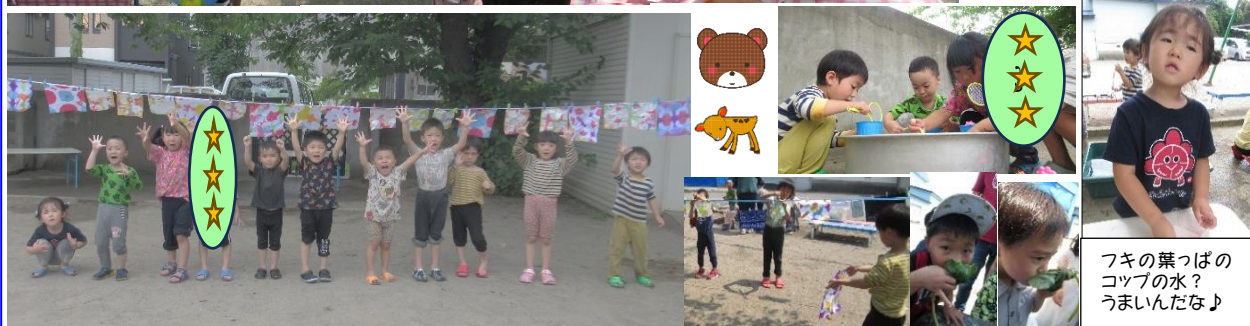
◎砂場で！ ここでも水遊びです。みんなで協力して深い穴を掘り、そこに水をためて温泉ごっこ♪トトロの泥んこで足をパックしたり、砂に道路やトンネル作って、ザーッと水を流して大歓声！



砂・すな・スナ。サンドのめしより「す・な・あ・そ・び！」

◎ある時は「青空教室」!!

青い空の下で、染め物遊び…。絵の具や水性ペンで色水をつくり、色水カーテンで園庭を飾ったり、目にも涼しい遊びを満喫♪紙がジワジワと染まっていく様子に大歓声！みんな、それぞれにオリジナルな色・いろ・イロ…ができました。



フキの葉っぱのコップの水？うまいんだな♪

◎海ごっこ ブルーシートを使っての海ごっこ…♪

う～みはひろいな お～きい～な♪と歌いながら、ブルーシートを海に見立てて遊びます。最初は音に驚き、「こわ～い！」と言っていた子ども、優しく揺らしているとやりたくなってきて…最後には「バサ～バサ～ッ」と波のように動かし大盛り上がり…♪最近ではブルーシート＝海でシートを広げると、濡れないようにみんな、くつした脱いで、はだしになってま～す！



これなに？なみ？うん、うみ…♪



◎ジッパーバックの水遊び

暑さが厳しくなるまでは、フリーザー用のジッパーバックに水を入れて魚のおもちゃを入れて遊んでいました。手で触ったり足の裏で触れたり、ほっぺをくっつけたりして「しゃつこい！」きもち、いい♪なんてコトバが聞こえてきました。だんだんと楽しくなって、足踏みしたり、ドサンって落としたりして…破れないか、ハラハラドキドキ…でした。

◎絵の具遊び 青や水色の絵の具を、手を使って塗り広げ、みんなで「海」を作りました。絵の具の感触が少し苦手な子もいましたが、楽しそうに塗っている子につられ、そばに行って一緒に挑戦です♪魚やカメ、カニ…など海の生き物がいっぱい！にぎやかになりました。



◎やっぱ水遊び！ 暑いんだもん♪だからやっぱり、水遊び、だあ～い好き♪顔や頭に水がかかってもへっちゃらです。自分でカップやペットボトルで水を汲んで…頭からバシャー♪

手足を動かし、水しぶきをあげながら大盛り上がり…。もっともっと水遊びがしたくて、お部屋に入るのは「いや～っ！」でも、「また、やろうネ♪」と約束をすると、お部屋に戻ってくるのでした。





今月の“ぴん・ぽん”

あなたの“子ども”に、詩をひとつ選んでお届け。口にだして読んでいただけたらス・テ・キ！ 少し文語体ですが…

あか いめだまの さそり
 ひろげ たわしの つばさ
 あを いめだまの こいぬ
 ひかりのへびの とくろ
 オリオンはたかく うたひ
 つゆとしもとを おとす
 アンドロメダの くもは
 さかなのくちの かたち
 おおぐまのあしを きたに
 五つのばした とくろ
 こぐまのひたひの うえは
 そらのめぐりの めあて

星のついで

宮沢 賢治

宮沢 賢治(1896年8月27日、岩手県生れ)
 賢治の童話「双子の星」に出てくる歌です。作曲も賢治。夏の夜、南の空低く釣り針のように大きく横たわっている「さそり座」の主星アンタレスは、火星と対抗するものという意の赤色巨星です。きっと今夜、賢治も大接近！



このコーナーでは、子どもたちの間でひろいあつめた“おもしろコトバ”を「ことばのアルバム」としてお届けします。今月のアルバムにはどんなコトバが咲いたかな♪

草のタネ！

午前中、外遊びをしていると、砂にまみれた草を持ちながら…
 Aくん「ホラッ、**草々、タネはえできたヨ♪**」
 《Aくん 3才10カ月 7月2日採録》

おだいじな薬！

昼食後、病院からもらった薬を飲もうとしていると、こどもたちが寄って来て心配そうにジ〜ッとながめている…。
 Bちゃん「ネエ、先生！その薬ってサ、**おだいじなくすり**でしょ！」
 先生「…えッ?!」
 Bちゃん「B、ちゃんと知ってるヨ♪だってサ、B、お薬もらう時、いつも“**おだいじに!**”って言われるもん♪」
 《Bちゃん 4才5カ月 7月4日採録》

該当なし

全クラスでおやつを食べ、順番で椅子の片づけをする際に…
 先生「女の子からど〜ぞ♪きりん(組)の女の子からど〜ぞ。こぐま(組)の男の子ど〜ぞ…」
 と声をかけられたけれど、こぐま(組)のCくんが動かない…
 先生「ど〜したの?」と聞くと
 Cくん「**C、お兄ちゃんだもん♪**」
 と、どれにも該当しないとうたっていました…
 《Cくん 4才3カ月 7月上旬採録》

どうして?

Dくん「ねえ、なんで海はつながってるの?」
 ……
ちきゅうは神さまが作ったから?
 ……
…ふしぎな海 なんだ?!
 哲学をしているDくんでした…
 《Dくん 6才1カ月 8月2日採録》

ん?

小さいブロックで保育者がフライパンのようなものを作っていると…
 Eちゃん「これ なに?」
 先生「フライパン♪」
 Eちゃん「パン? **クリームパン?**」
 先生「う〜ん、フライパンだよ♪(笑)」
 Eちゃん「ん?**ごはん?**」
 こんなやり取りがつつきました…とき♪
 《Eちゃん 1才11カ月 8月上旬採録》



伝言板

◎今年のお正月は9月17日(火)です。

※「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震―事前の備え―」マンカ版もあります。
https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima_hokkaido/pdf/chishima_jea_flets.pdf

◎11月注意ください、手足口病が流行してしまっています。排便後の手洗いを徹底してください。

もう野山ではススキの穂が風に揺れ、秋近いです。さて、例年、きりん組の子どもたちが十五夜を前にススキを採りにまわります。夕方、なしの木山のススキをお持ち帰りください。

で〜た〜た〜た〜き〜が〜ん〜、なりますように…祈る晴天

編集後記

7月号の新聞で「植えました」と書いた、紙パルプを作る一年草ケナフ。今や、もうすぐ3歳を越えそうな勢いです。自然は驚きだらけです。でも、その驚きを感じるか感じないかはこちら側の問題でもあります。1960年代のアメリカ。海洋ジャーナリストのレイチェル・カーソンの『知ることは感じる』の半分も価値はない『う』コトバも驚きに満ちていました。春を生き、夏を過ごし、秋を迎えたいと思っはいるのですが…。立秋もとうに過ぎ、8月もあとひと息。

昭和60年4月に創刊の「こどものくに新聞」。今月で通巻188号ですから、約2.5カ月に1回の発行。ふうっと息を吐きながら…お届けです。はぁ〜い、新聞♪